



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

2022.10.26 (No.3134)
週報 No. 11

再生・新生・共生

第2560地区ガバナー／高橋 秀樹
会 長／西山 徳芳
会長エレクト／吉井 直樹 (クラブ奉仕A)
副 会 長／野崎喜一郎
幹 事／梨 本 次 郎
S A A／石 黒 良 行
会 計／五十嵐博宣
直 前 会 長／歸 山 肇
会長ノミニー／渡 辺 良 一 (クラブ奉仕B)

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095
E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(～はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

■本日の出席会員数:57名中43名
■先々週出席率:73.68%

【ヴァンター】

・三條RACより
川越健矢さん、笠原天地さん

【先週のメイクアップ】

[10.20] 新潟西RCへ
・関 義実さん
[10.20] 三條東RCへ
・五十嵐晋三さん、外山浩玲さん、
・衛藤泰男さん、山田富義さん
[10.20] 第2回地区運営改善検討委員会
(新潟)へ
・関川 博さん
[10.21] 臨時地区運営改善検討委員会
(新潟)へ
・関川 博さん
[10.23] 第21回ライラ研修
(新津、オンライン)へ
・相場弘介さん、小林卓哉さん
[10.24] 三條南RCへ
・落合孝夫さん、石橋育於さん、
・荻根澤隆雄さん、齋藤弘文さん、
・山田富義さん



2022～2023 年度国際ロータリーのテーマ



会長挨拶

西山徳芳 会長



先日はクラブの親睦旅行に行ってお参りました、2日間とも天気に恵まれ、シーズン初の冠雪した立山と紅葉の黒部ダムとロープウェイを楽しんできました。お骨折りいただいた親睦委員会ならびに落合委員長ありがとうございました。

今日はライラ研修報告です。小林卓哉青少年奉仕委員長、卓話よろしくお願ひします。三條RAC川越会長、笠原幹事ようこそいらっしゃいました。ゆっくりお過ごしください。

クラシックのコンサートに行くと言っても色々な種類がある。プロ、アマチュア、学生などの演奏の他に、ジャンルや出演者によってオーケストラの演奏会、リサイタルなど様々なジャンルが考えられる。

初めてのコンサートは一人で行くのもいいが、できることならば少しでも行ったことのある人についていく方がより楽しめるのではないだろうか。経験者に色々教えてもらいながら踏み込めば、わからないジャンルでも身近に感じながら、様々な視点で楽しむことができるようになります。

服装についてはTシャツにジーパンのような軽装よりは、ゴルフのハウスルールのような襟付きの服程度に少し気取ったくらいの服装の方が雰囲気ごと体感できるのでお勧めしたい。

幹事報告

梨本次郎 幹事



開演時間の30分ぐらい前に到着し、座席を確認したのち、早めに時計のアラームや携帯電話の電源を切ることで、これから演奏会が始まる高揚感と期待感に浸れると思います。まさか演奏中の静かなところで「3分クッキング」や「笑点」などのデジタル音を鳴らすわけにもいきませんからね。演奏に集中するならば、あらかじめ準備しておくことも重要だろう。

演奏会で最も大事なことは、演目を見て知っている曲が入っているかどうか確認することではないだろうか。全く知らない、やたらに難しい曲をいきなり聴くよりも、曲名を知っているものを選択すると、気持ちに余裕が出て非常に聴きやすい。行く前に、演目にある知らない曲をCDなどでちょっと予習をしていくと、生の演奏との違いなどを存分に楽しめます。

例えば交響曲をわかりやすく車に例えると、曲の名前は車の車種、指揮者がドライバー、演奏者が車の性能に当たるところになります。車と違うのはオーケストラと言う乗り物を指揮者がコントロールするのでなく、車の性能を十分に引き出すことにあります。

ですから、同じ曲でも指揮者が別の人の場合や、楽団が変わると全く別物になって聞こえます。また、聞き手や会場によっても大きく変わります。

開演の前、演奏者が入場する時に拍手をします。奏者は、拍手を合図に気持ちにスイッチをいれ「今日は頑張るぞ」という気持ちに拍車をかけます。次に指揮者が入るとまた大きな拍手があり、音合わせのチューニングの後に一瞬の静寂があり一気に緊張が高まり、指揮者が指揮棒を振りおろすと同時に音楽が始まります。

大きな交響曲は第一楽章から第四楽章、場合によってはもっと長くなります。途中で拍手をしたくなるような盛り上がりのある曲もありますが、指揮者の指揮棒が完全に下がり静止した段階でしばらくの静寂の後に大きな拍手が来ます。指揮者は聞いている私たちに背中を向けていますが、無言のうちにその雰囲気は伝わります。聴衆のエネルギーは間違いなく指揮者や奏者に伝わり、大きな盛り上がり感動に繋がります。このように聞いている人の質によって大きく変わり、地域性によっても関東と関西ではまた違った雰囲気のものに変化する独特な世界なのです。

◎三条ローターアクトクラブより

「10月第二例会のご案内」

日時 10月27日(木) 19:30～

会場 リサーチコア 4階・異業種交流室

◎五十嵐川を愛する会より

「五十嵐川クリーン作戦中止のお知らせ」

◎高橋ガバナー事務所より

「地区大会オンライン配信のご案内」

地区大会2日目(11/13)は、YouTubeを利用したオンライン配信がごさいます。

視聴方法は本日配布した地区大会プログラム32ページに掲載されておりますのでご覧ください。

◎三条市共同募金委員会より

「赤い羽根共同募金 街頭募金の報告と御礼」

10月1日に行われた赤い羽根共同募金街頭募金の募金額は市内7か所で66,527円でした。

◎次週 11月2日(水)は、休会です。お間違えのないようよろしくお願いいたします。

ニコニコBOX

西山徳芳会長

わが家の柿が実り、おいしい、さわし柿になりました。

小林卓哉委員長、卓話ご苦労様です。

ローターアクト川越会長、笠原幹事、よくいらっしゃいました。

嘉瀬一洋さん

この度は、弊社会長の葬儀に際しまして、クラブをはじめ、皆様より過分なお心遣いをいただき、心より御礼申し上げます。有難うございました。

落合孝夫さん

旅行当日も、今日のように大変良い天候で、黒部ダム、北アルプスのすばらしい景色を愛でる事が出来ました。ご参加いただいた皆様、日本旅行の小森谷さん、ありがとうございました。

荻根澤隆雄さん

先週19、20日の会員親睦旅行では大変お世話になりました。楽しかったです。親睦委員長の落合さん、本旅行を企画運営された各位に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

松永隆夫さん

先日の親睦旅行は皆様のご協力のおかげで、無事に終えることができ、本当に感謝しております。

梨本次郎さん

先日の親睦旅行楽しかったですね。落合委員長を始めとする親睦委員会の皆様、そして小森谷さん、どうもありがとうございました。

小林卓哉さん

本日はよろしくお願い致します。

松永一義さん

親睦の皆さん、旅行大変素晴しかったです。有難うございました。

小林さん、卓話楽しみにしてます。

小越憲泰さん

先週の親睦旅行、素晴らしい天気にも恵まれ楽しかったです。親睦委員会の皆様ありがとうございました。

吉井直樹さん

先週の親睦旅行は最高の経験ができました。委員長をはじめ、企画に関わった皆さんありがとうございました。本日「ライラ研修報告」宜しくお願いします。

野水靖之さん

先週の親睦旅行、天候に恵まれ、とても楽しい2日間でした。落合委員長をはじめ、親睦委員会の皆様、大変ありがとうございました。

柳取崇之さん

旅行に参加された皆様、大変御世話になりました。楽しい思い出の旅行になりました。

小林吾郎さん

落合さん、親睦旅行お疲れ様でした。

中村和彦さん

小林さん、卓話楽しみにしています。先日のRC旅行楽しんで来ました。メンバーにお世話になりました。

関川 博さん

しっかり感染して地獄を見ました。みなさん、気をつけて下さい。

小林会員、報告楽しみです。

川越会長、笠原幹事、よろしく申し上げます。

野崎喜一郎さん

所用で早退します。

小林会員の卓話は週報で読ませてもらいます。

斎藤真澄さん

久しぶりです。

卓話楽しみにしています。

石倉政雄さん

ローターアクト川越会長、笠原幹事、ようこそいらっしゃいました。

衛藤泰男さん

本日もよろしく申し上げます。

小出子恵出さん

23日、男体山2486mに登って来ました。紅葉のはじまりでした。

長谷川徹さん

先週の旅行お疲れ様でした。

船越良則さん、若槻八十彦さん、五十嵐博宣さん、丸山行彦さん、長谷川正実さん、歸山 肇さん

ライラ研修報告ご苦労様です。お話楽しみにしております。

山田富義さん、石橋育於さん、杉山幸英さん、中林順一さん、高橋俊樹さん、丸山鉄兵さん、

安達俊明さん、早川滝徳さん

よいことがありました。スマイルボックスに協力いたします。

10月26日分 ￥ 48,000
今年度累計 ￥ 372,000

11月のお祝い

◎会員誕生祝

4日 松平隆行さん
11日 嘉瀬一洋さん
12日 柳取崇之さん
21日 西山徳芳さん
25日 寒河江勝俊さん



◎夫人誕生祝

14日 野崎ミチコさん (喜一郎さん)
17日 中村範子さん (和彦さん)

◎結婚記念祝

3日 吉井直樹さん (道代さん)
3日 滝沢 亮さん (佳代さん)
6日 衛藤泰男さん (蓉子さん)
11日 金子俊郎さん (裕子さん)
22日 柳取崇之さん (恵さん)

◎100%出席賞

25年 佐野勝榮さん
3年 五十嵐博宣さん

「ライラ研修報告」



小林卓哉 青少年奉仕委員長

青少年奉仕委員長の小林です。

本日は先週末23日(日)に開催されたライラ研修の報告をさせていただきます。

今回もCOVID-19の中でのZOOMによるリモート研修会でした。

ホストクラブは、新津中央RCで、地区役員は、新津の地域交流センターに集まったの開催でした。

当クラブからも、相場会員が地区のローターアクト委員長ということで現地参加でした。ZOOM参加は、私と三条ローターアクトクラブの川越会長、笠原幹事の三人でした。

第2560地区としては21回目の開催で、テーマは、「地域社会が育てるリーダーの資質とは？」でした。内容は、午前に「今、渋沢栄一に学ぶ」ということで、作家であり、グロービス大学客員教授の、守屋淳氏より特別講演があり、午後からは、秋葉区の観音寺ご住職 阿部正機氏より「仏教におけるリーダー論」という内容での基調講演が行われました。

終ってみて、青少年の出会いの場でありコミュニケーションが大切なライラ研修が、従来の対面式がいいのは勿論ですが、状況を考えリモート開催を決断された主催者側も大変だったと思いました。

以下、渋沢栄一に関する守屋氏のご講演の抜粋です。

＜渋沢栄一の関わった企業＞

約481(東商調べ)と言われる。

現在の

- ・みずほ銀行
- ・東京ガス
- ・王子製紙
- ・東京海上日動火災保険
- ・帝国ホテル
- ・麒麟、アサヒ、サッポロビール など

＜渋沢栄一の関わった社会事業＞

約600と言われる。

現在の

- ・日本赤十字社
- ・聖路加国際病院
- ・一橋大学
- ・日本女子大学
- ・日米関係委員会

＜日本の近代化は渋沢あってこそ＞

欧米列強に植民地にされるという危機感から、幕末維新の志士は、「政治改革」を行おうとしていた。生き残った幕末維新の志士のほとんどは、明治に政治家や軍人として活躍。渋沢だけは経済・実業の重要性を理解し、実業界を設計、発展させた。一橋家に仕えていた時にナポレオン3世の統治下のフランスに訪れ、そこで学んだ。当時のフランスは、経済成長を本格的に意識し、総合的政策を持つことのできた最初の政体であった。

＜国家介入主義＞

①金融の整備

銀行、保険会社、証券会社の設立

②インフラの整備

鉄道、エネルギー関係、製紙会社

③人材育成

一橋大学 早稲田大学 日本女子大学 など

＜合本主義＞

公益を追求するという使命や目的を達成するのに最も適した人材と資本を集め、事業を推進させる、という考え方

＜渋沢自身の性格＞

財閥をつくらない。無私のプレーヤーであり、設計者、運営者

＜近代化や資本主義の問題＞

伝統社会に近代化や資本主義が入るとモラルの低下が起きる。拝金主義の蔓延

＜渋沢のモットー＞

「論語と算盤」

「道徳経済合一説」

「義利合一」

「義利両全」

「士魂商才」

渋沢にとって、ビジネス・経済の核は「信用」倫理の核も「信用」



**三条ローターアクトクラブ
幹事 笠原天地さん**

「地域社会が育てるリーダーの資質とは？」との研修テーマにて行われたライラ研修の感想をご報告いたします。

特別講演では、渋沢栄一の著書「論語と算盤」が書かれた当時の時代背景、そして彼が現代にどんな影響を与えたのかとご講演いただきました。日本初の銀行設立等、信用で回す経済の礎となった人物であり、著書と講演を経て、彼なくして現代の日本は無かったと感じるほどでした。

また、「論語と算盤」は近年の中国でも学生向けとして、職業道德の教材に用いられているそうです。

渋沢栄一が教科書とした孔子の「論語」の生まれた地域で重宝されている事からも、その才能の凄まじさを感じます。

基調講演では、お釈迦様の教えや伝説から人として、リーダーとして、どうあるべきかをご講演いただきました。講師の方の経験談も交えての柔らかい雰囲気、安心して臨めました。

お釈迦様の教えは「天上天下唯我独尊」を筆頭に平等を謳うものが多く、私の印象で語るとするなら「心に余裕をもって、自分も他人も大切に」という事を伝えているのだろうなと感じました。

渋沢栄一とお釈迦様の教えとでは、共通する点もあったように感じました。特に私の印象に残ったものは、その瞬間の主観だけで人や物事を判断する事のないように、落ち着いた視点で物事を見るということです。

渋沢栄一の著書には、人が善人のまま終わるとは限らず、またその逆も言えると書かれていました。

それを踏まえたうえで、善人でも悪人でも、善い方向に導いてやりたいともあります。

お釈迦様も、自分にとっての善悪だけで判断することなく、全て横並びの尊い命であると教えを残されています。

時間の経過に関してと客観視とで少々違いはありますが、どちらとも、瞬間の主観だけで人物や物事を決めつけてはいけないと伝えているように感じました。

「論語と算盤」の一節に、後から振り返った時に当時の判断を間違えたと後悔することもあると書かれていました。渋沢栄一ほどの人物ですら人を見誤るのですから、私のような若輩者は余計すぎるほどに慎重に人を見る必要があると感じました。私も指導する立場になる時には、一時の物事で人を判ずるのではなく、移り変わるものであると心に

留めて、今より善い方向に導いてやれる人間でありたいと思いました。

リーダーの資質に関しての研修でしたが、その多くは、子供でも分かるような人道や道德であったように感じました。渋沢栄一も、お釈迦様も、大切にしていたのは守るべきであるはずなのに守られていない道德でした。お釈迦様の教えの中にも、ためになることや善いことは、そうでないことに比べるとなし難いとあります。

今回の研修を経て、なし難い道德を強い精神で守り続ける人間性こそ、リーダーの資質ではないかと感じました。

どちらの講演も、これからに活かせる非常に勉強になる講演でした。このような機会を用意していただき、ありがとうございました。



**三条ローターアクトクラブ
会長 川越健矢さん**

皆さんご無沙汰しております。三条ローターアクトクラブ川越です。

これまでライラ研修会に6回程参加させて頂いておりますので、過去の経験と比べながら私の感想をお伝えさせていただきます。

今回はZOOMでのライラ研修会でしたが、率直な感想としては苦痛でした。

前半の講演は守屋淳さんの講演でしたが、渋沢栄一個人にフォーカスされた話ではなく、渋沢が生きた時代背景や社会の仕組み説明を延々とされ、かなり濃い歴史の講義を受けさせられ2時間の講義の結論としては「渋沢のような強く大きな志を持つのは大変なので、小さな志を育てていきましょう」でした。この一行を聞く為に、本を一冊読まされ2時間の講演を聞かされたのかと。午前中で心がだいたい折れておりました。

後半の講演は、ホストクラブ新津中央RCの会員でもある阿部正機さんから、仏教におけるリーダー論と題し、お釈迦様や仏教の教えを柔らかい口調で御講演頂きました。

時折、ご自身の実体験を取り入れながら御講演頂いていましたが、それでも延々と話を聞く作業は苦痛でした。

なぜ私が、ここまで苦痛を感じてしまったかといえば、ZOOMでの開催だったのが原因だと思います。ここで、送られてきた案内文にRYLA研修会の要項が入っていましたので一部抜粋でご紹介いたします。

RYLAでできること

地元で活躍する人や豊かな経験をもつ人たちと一緒に

- コミュニケーションや問題解決のスキルを磨く
- 学校や地元地域で活躍できるリーダーとなる方法を発見する
- 地元のリーダーによる指導、意欲を高めるような講演、仲間との交流による学び
- 自分の可能性を発見し、行動へとつなげる
- 楽しみながら、生涯続く友情を培う

本来のライラ研修は参加者同士で意見を出し合い、交流していく中で自分を磨いていく場だったと思うのですが、今回はそれが全くなく、講演会を自分

なりに落とし込んでいくだけの作業で、このやり方なのであればライラ研修会ではなく、自分の聞きたい講演を聞いた方が勉強になったのではないかとと思う事が多く、参加していた人はただただ苦痛だったろうなと思いました。

コロナ禍での開催という事で、準備されるホストクラブの皆さんがご苦勞されていることを、重々承知したうえで申し上げますが、ZOOMでの開催であってもただ一方通行の講演を聞かせるだけでなく、参加者同士が意見を出しあえる交流の時間を是非とも作って欲しいと思います。次回のRYLA研修会には参加できるかわかりませんが、参加できるようであれば参加させて頂きたいと思います。



例会の様子



次週例会 11月16日

「地区大会報告」 西山徳芳 会長

次々週例会 11月23日

休会（勤勞感謝の日）

